

原子力基盤研究「社会コミュニケーション・情報基盤技術」に関する提言

WS-6 とりまとめ主査 北村 正晴

ワークショップの目的

原子力基盤研究は、我が国のエネルギーセキュリティーを支える一翼であることは論を待たない。原子力発電の国際的な展開が進む中、我が国への期待も大きなものとなってきている。それを支える原子力技術について、基盤となる研究開発の現場に関する課題を模索しつつ、これからのあり方、将来方向について産官学のそれぞれの立場を尊重しつつ、国としての方向性の枠組みのコンセンサスを形成することが必要と考えるものである。その上で、得られたものを国の「原子力政策大綱」に反映すべく提言として取りまとめる。

本ワークショップは、原子力基盤の中でも重要な戦略技術であるが、これまで技術開発、研究という地付けは必ずしも十分ではない状況であった。しかし、日本からの原子力発電プラントの輸出や規制基準の国際協調の中で、リーダーシップをとる動きが出ている中で、この役割は重要なものとなってきている。これらの状況を鑑み、将来を見据えた研究開発に取り組むべく、この技術分野に対して、わが国における研究課題を抽出し、その重要度・緊急度を議論することで、5年後に向けた方向性を明らかにすることを目的としている。

原子力産業界はもちろん、安全規制の高度化にも不可欠である。また、これらの研究開発は、わが国の原子力技術基盤を支える人材の育成にも大きく寄与するものであり、産官学を挙げて取り組むべきテーマであると考ええる。

このような背景の下、将来を見据えながら5年後のあるべき姿を目指して、どのような基盤研究を推進していくべきかを集中的に討論し、産官学への提言として取りまとめるためのワークショップを開催する。

記

日時：2011年3月7日（月）14:00-17:00

場所：航空会館 504会議室

主催：日本原子力学会 標準委員会

内容：趣旨説明

基本的な考え方

課題の抽出および提言素案

（注）参加者は特に制限していません。多くの方々に参加いただきご意見をいただきたく、お願いいたします。

(扱い) 標準委員会事務局
菅野、岡村
電話 03-3508-1266、1263
Email : sc@aesj.or.jp

以上